

# 親

850TH ANNIVERSARY  
SPECIAL EXHIBITION

## SHINRAN

*The Life and Legacy of the Founder of Shin Buddhism*

March 25–May 21, 2023

生涯と名宝



親鸞聖人生誕850年特別展

いまこそ、  
親鸞の  
声を聞く。

# 真

2023年  
3月25日(土)–5月21日(日)

※会期中、一部の作品は展示替を行います。

京都国立博物館

平成新館 KYOTO NATIONAL MUSEUM [東山七条]

休館日 月曜日

主催 京都国立博物館、朝日新聞社、NHK京都放送局、NHKエンタープライズ近畿

特別協力 真宗教団連合

観覧料 一般当日1800円(1600円)、

大学生1200円(1000円)、

高校生700円(500円) ※( )内は前売料金

※中学生以下、障害者の方とその介護者一名は無料となります(要証明)。

※大学生・高校生の方は学生証をご提示ください。

※会期、展示作品等は今後の諸事情により変更する場合があります。

# 親鸞

## 生涯と名宝

二〇二三年は浄土真宗を開いた親鸞聖人(一一七三〜一二二二)の生誕850年にあたります。親鸞は京都に生まれ、九歳で出家して比叡山で修行に励みますが、二十九歳で山を下り、法然上人の弟子となります。そこですべての人が平等に救われるという阿彌陀仏の本願念仏の教えに出遇うも、法然教団は弾圧を受け、親鸞も罪人として還俗させられ越後に流罪となります。

その後、罪が赦された親鸞は、関東へ赴き長く布教に励み、やがて京都へと戻り、晩年まで主著『顕浄土真実教行証文類』(教行信証)や「和讃」など多くの著作の執筆や推敲を重ねました。その九十年の生涯と教えは、今も多くの人を魅了して止みません。本展覧会は親鸞の求道と伝道の生涯を、自筆の名号・著作・手紙をはじめ、彫像・御影・絵巻など浄土真宗各派の寺院が所蔵する法宝物を一堂に集め紹介します。

国宝 親鸞聖人像(安城御影副本) 京都・西本願寺



六字名号 親鸞筆 京都・西本願寺



重要文化財 善信聖人親鸞伝絵(高田本)(部分) 三重・専修寺



桜花図／松・藤花図のうち松・藤花図 望月玉泉筆 京都・東本願寺



国宝 教行信証(坂東本) 親鸞筆 京都・東本願寺

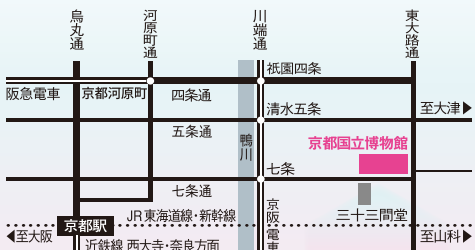


国宝 三十六人家集(忠見集) 京都・西本願寺

他力というは、如来の本願力なり  
—— 親鸞『教行信証』

京都国立博物館  
平成知新館 KYOTO NATIONAL MUSEUM【東山七条】

〒605-0931 京都市東山区茶屋町527  
TEL 075-525-2473(テレホンサービス)  
<https://www.kyohaku.go.jp/>



【交通アクセス】◎JR・近鉄=京都駅下車、駅前市バスD2のりばから206・208号系統にて博物館三十三間堂前下車、徒歩すぐ。◎京阪電車=七条駅下車、東へ徒歩7分。◎市バス=博物館三十三間堂前下車、徒歩すぐ。\*ご来館はなるべく公共交通機関をご利用ください。駐車場は有料となっております。